

定時評議員会議事録

令和 5 年度

公益財団法人 愛媛県消防協会

2023/05/26

令和 5 年度 定時評議員会議事録

【日 時】 令和 5 年 5 月 26 日(金) 午後 2 時 28 分～午後 4 時 30 分

【場 所】 松山市北持田町 139 番地 2 愛媛県生活文化センター2 階第 1 研修室

【出席者】 評議員 13 名（総数 17 名）

大野秋義、山内敏男、藤原清久、戸田 基、嘉村重雄、
森 眞和、山田久雄、瀧内光雄、廣瀬吉孝、谷岡和彦
宮本寅誉、渡邊広道、渡辺正弘

理事 4 名、監事 3 名、事務局 3 名、支部幹事 3 名、会長所属事務 1 名
会計事務所 1 名

代 表 理 事：大西浩司

業務執行理事：久米幸一、後藤英治、松岡増幸

監 事：曾我部輝寛、松下豊繁、藤原展嘉

事 務 局：楠本員三、田所慶子、新野涼子

支 部 幹 事：長野光太郎、青木雄飛、桑山義央

会長所属事務：玉井 公

会 計 事 務 所：池田淳一

【議 長】 山内敏男

【欠席者】 石川克也、柏原伸一郎、村上豊司、梅岡公胤

【議決定足数】 7 名

【議事録作成に係る職務を行ったもの】 新野涼子

<議 事>

まず、事務局より規定に定める議事定足数（過半数）に達しており、本会議が成立することが宣言された。

続いて代表理事より招集のあいさつがなされた。

1. 【第 1 号議案】 議長の選出について

事務局に一任となったので、東予支部 山内敏男氏を推薦し、第 1 号議案を諮ったところ、賛成多数で可決された。

2. 【第 2 号議案】 議事録署名人の選出について

議長一任となったので、中予支部 森 眞和氏、南予支部 宮本寅誉氏を推薦し、議長が第 2 号議案を諮ったところ、全員賛成で可決された。

3. 【第3号議案】令和4年度事業報告書について

事務局から令和4年度事業報告書について、評議員会に報告した。

➤ 法人の概要

令和4年度会員数：24団体 20,921名（前年比454名減）

支部：東予（四国中央市消防本部）、中予（伊予消防等事務組合砥部消防署）

南予：（愛南町消防本部）

役員等：理事15名、監事3名、評議員：17名

職員：3名

➤ 事業の状況（資料参照）

公益目的事業実施状況

- 日本消防協会等の福祉共済等の仲介
- 消防団の活性化や充実強化など地域防災力向上を目指す事業
- 消防団員等の教育・研修・訓練の開催や参加のとりまとめ
- 消防防災に関する情報発信や物資あっせん
- 消防に関する表彰
- 操法大会や消防大会など県大会開催や全国大会参加に関する調整
- 消防関係機関などとの協力相互連携

収益事業実施状況

- 駐車場管理事業
- 広告等事業

役員会等に関する実施状況

➤ 法人の課題

コロナ禍による様々なブランクや人口減少等による団員減少への対応が急務である。消防関係者だけでなく、外部、特に若者へのアピールを継続的に行えるよう、長期的ビジョンをはっきりさせ、市町行政をはじめ県への理解促進と協力依頼を引き続き実施していかなければならない。

愛媛県消防協会の事務所については、建て替えの方向だが、資金調達をはじめ、実現可能な計画の見直しが必要である。

➤ 決算期後に生じた法人の状況に関する重要な事実

■ なし

4. 【第4号議案】令和4年度決算並びに監査報告について

事務局から決算報告書について報告がなされた。

内容は貸借対照表と正味財産増減計算書で前年度と大きく変動した科目、基本財産額に変動がないことの説明をし、正味財産は約22万円の増額であるが、支部運営費の戻入が23万円ほどあったのでかろうじてプラスだったことを報告した。

また、補足資料にて収益事業等会計から公益目的事業会計へ128万円繰入れしたこと、公益目的事業比率は、制度上求められている水準50%超えを満たし、88.5%

であること、遊休財産は2,321万円となり、保有上限額の2,346万円内だったことを報告した。

続いて監事の藤原展嘉氏から令和4年度の事業報告は、法人の状況を正しく示していると認められ、また、理事の職務の執行に関する不正の行為、または法令等に違反する重大な事実は認められないこと、決算書については適正かつ確実に処理されていると監査報告がなされた。

議長が第4号議案を諮ったところ、全員賛成で可決された。

5. 【第5号議案】評議員の任期満了に伴う選任について

事務局から評議員全員が本定時評議員会の終結と同時に任期満了することとなるので、その改選の必要があることと、当協会各支部及び消防長会より推薦のあった、6名及び再任候補者11名を新たな評議員に選任することを説明した。

番号	候補者氏名(所属)	任期満了評議員氏名(所属)	推 薦
1	橋本 武(東温市消防長)	石川 克也(西条市消防長)	消防長会
2	浅海 宏貴(愛南町消防長)	大野 秋義(久万高原町消防長)	消防長会
3	山内 敏男(新居浜市団長)	同 左	東予支部
4	加納 博幸(上島町団長)	柏原 伸一郎(前上島町団長)	東予支部
5	藤原 清久(今治市副団長)	同 左	東予支部
6	戸田 基(西条市副団長)	同 左	東予支部
7	村上 豊司(四国中央市副団長)	同 左	東予支部
8	森 眞和(東温市団長)	同 左	中予支部
9	松永 久富(砥部町団長)	嘉村 重雄(松前町団長)	中予支部
10	山田 久雄(松山市副団長)	同 左	中予支部
11	梅岡 公胤(伊予市副団長)	同 左	中予支部
12	水口 泉(松前町副団長)	瀧内 光雄(久万高原町副団長)	中予支部
13	廣瀬 吉孝(西予市団長)	同 左	南予支部
14	谷岡 和彦(内子町団長)	同 左	南予支部
15	岡田 和也(伊方町団長)	宮本 寅誉(前伊方町団長)	南予支部
16	渡邊 広道(松野町団長)	同 左	南予支部
17	渡辺 正弘(鬼北町団長)	同 左	南予支部

議長が第5号議案を一括で諮ったところ、全員賛成で可決された。

6. 【第 6 号議案】理事・監事の辞任に伴う補欠選任について

事務局から現在の理事・監事の任期が、令和 6 年の定時評議員会までであるが、2 名の理事と 1 名の監事から辞任の意向が示されており、残任期 1 年間の理事・監事を選任した。

定款により候補者ごとに決議が必要となっているため、議長はひとりひとり決議を求めた。

- ①消防長会推薦「金澤 英雄」氏の後任で、同会の「村尾 尚登」氏を理事とすることを諮ったところ、全員賛成で可決された。
- ②中予支部推薦「後藤 英治」氏の後任で、同支部の「嘉村 重雄」氏を理事とすることを諮ったところ、賛成多数で可決された。
- ③中予支部推薦「松下 豊繁」氏の後任で、同支部の「小笠原 貴雄」氏を監事とすることを諮ったところ、全員賛成で可決された。

7. 諸般の報告

事務局から下記のとおり報告がなされた。

- 1. 令和 5 年度事業計画及び収支予算について
- 2. 第 98 回殉職消防職団員慰霊祭について

5 月 30 日(火)10 時 30 分から、愛媛縣護國神社で人数制限なしで開催。

ご遺族 4 名、伊予市長・松前町長、東予 76 名、中予 71 名、南予 127 名で執り行う予定。

- 3. 愛媛県消防大会について

5 月 30 日(火)13 時 30 分から、愛媛県県民文化会館サブホールで人数制限なしで開催。席は 1 つ空きでも座ってもらえるように配置。

今年度は、団結成開始から 130 年の記念の年になる。通常のメニューに加え、県警音楽隊の記念コンサートを実施する。

- 4. 愛媛県の委託事業について

＜女性消防団員確保対策事業＞

質の高い広報活動を提供できる体制づくりのための研修会の開催。

団員を確保するために「消防団を知っている人を増やすこと」に重きを置くのか、時間がかかっても「消防団に入団する人をつくっていくのか」この 2 点は、似て非なるものである。

実際に入団する人を増やしていく時、消防団についての「悪いイメージを払拭していく」のか、「良いイメージを膨らましていく」のか、どちらを重点的にしていくのがよいのか、評議員の考えを伺った。

- ・ 少子高齢化と人口減少のあおりを受けている自治体の 1 つ。入団の声掛けをしようにも人がいない。消防団員を増やすには、一人でも多くの人に声掛けをす

るしかないと考えている。(大野評議員)

- ・消防団の悪いイメージと言われても自分自身では悪い印象がなく、良い人ばかりなので、払拭というのは難しいかもしれない。(藤原評議員)
- ・悪いイメージというのは、操法大会用の訓練が厳しすぎて退団者が続出しているとか、消防団は飲み会集団というような、脚色され SNS に出回っているものだと思うが、取り方だと感じる。(事務局)
- ・訓練や飲み会が悪だとは思っていないが、団でやっていること、できることなど良い PR をする。

西条市では、若手団員で構成する活性化委員会を設け、違う目線での意見をもらったりしている。大切な意見もある。(戸田評議員)

- ・コロナ禍で勧誘が滞っている。広報やパンフレットで加入に結びつかない。愛媛県全体に言えることで、令和 4 年度の消防団員数は、前年度-450 人となっている。自治体の広報誌を利用するのはもちろん、身近なところから勧誘するのが有効だと考える。

また、操法は消火活動の基本なので、操法活動に参加ができない団員に消火活動をさせるのは危険だと感じるため、続けたら良い。(嘉村評議員)

- ・悪いイメージをなくし、良いイメージを広げていく。時代に合わせた消防団活動に変化させていかなければならないと考えている。(森評議員)
- ・良いことをもっとアピールすべき。人が多く集まる場所での PR が必要であると考えている。例えば成人式のような若者が多く集まる場所。地域行事や学校行事に出向き、消防や防災、消防団の活動について発信していくことが必要。(山田評議員)

- ・先日、団長と団幹部数名で高校へ行き、消防団の勧誘を行ったが、入団に繋がる人はいなかった。街の高齢化は問題だ。(瀧内評議員)
- ・団の再編中。飲み会が消防団の悪しき習慣を言われているが、西予市では「飲みみにケーション」を推奨している。膝を突き合わせることでしか話せないことはたくさんあるし、コミュニケーションをとり良いところを伸ばそうと考えている。女性団員の増員については、都市部で進んでいない。男性とは異なる女性の活動や役割について、情報がほしい。(廣瀬評議員)
- ・若者の消防団に入らない理由の 1 番が「危険だから」と水防研修会で耳にした。装備の充実を図っていくのは喫緊の課題。内子町では、年末夜警を 3 日間から 2 日間にした。消防団はしんどいだけでなく、ある部では慣例行事にゴルフコンペを加えたら、6 人から 17 人になったという例もある。U ターンをした住民や町民に活動内容が周知されていない女性団員の加入促進や活性化をしていきたいと考えている。(谷岡評議員)
- ・伊方町は、過疎化の自治体ではあるが、操法に熱心な街である。操法訓練については、消防団活動や消火活動をするために必要なスキルを身につけるための訓練という理解をしており、悪いイメージはない。飲み会も長時間しない工

夫。若くして退団する人も多いので、30 年以上長く所属してもらえる消防団を目指したいと考えている。女性消防団員については始まったばかりなので、今後も声掛けし入団を進めていきたい。(宮本評議員)

- ・ 良いイメージを伸ばす方向性が良い。条例定数を大きく下回る実員数で、加入促進は課題であるが、活動をしたい、辞めたくない消防団にしたいと団長就任時感じた。現在入団してくれている若い人が続けられる消防団であるために、みんなの前で怒鳴り散らすようなことは決してしない心積もりで団長をしている。若い人がいないが、地域協力隊が喜んで入団してくれる。いやなことはどこへ行ってもあるが、良いことを指導する。(渡邊評議員)
- ・ 悪い面を利用し、良い面に持っていけないか。飲み会だけでなく、対話も苦手な若者がいる印象。人口減少による少子高齢化、過疎化など、消防団員を増やすには厳しい自治体状況である。地道な広報活動が大事。(渡辺評議員)
- ・ 男性の加入促進については、1 人で行動できなくても、連れがいればということで、同級生への声掛けを呼び掛けている。若い子たちは、祭りには参加するが、消防団には入らない。入っても、夜中の召集サイレンには反応しない。女性の加入促進については、ピンとこない。女性は、独身のときに入団しても結婚したら退団する。男性は家庭をもった若い人を狙う。(曾我部監事)
- ・ 入団促進は、都市部でも難しいが、山間部は人がおらず、更に厳しい。一人では入団し難いし、活動を継続し難い。若い人は1 人では入団しないので、友達も一緒に勧誘するようにしている。女性団員は仲も良く、定員いっぱいいる。(松下監事)
- ・ 部によって2 極化が進んでいる。息子が入団したので、気づいた点を聞いてみたが、私たちとは考え方が全く異なると感じた。操法も先輩たちを見て引いてしまうので、払拭するための策が必要だが、火消しの精神はあると感じる。特に飲み会について、若い世代は、大勢で飲むことを嫌がる傾向にある。(藤原監事)

5. 令和 5 年度各支部事業について

6. 日本消防協会に係る令和 5 年度主要行事予定ならびに今後の全国大会等の開催計画について

- ・ 全国消防操法大会について、実技の見直しが今後もあるかと思うが、分かり次第随時お知らせしていく。
- ・ 女性消防操法大会について、D 級ポンプが廃盤になるにあたり、令和 9 年度の大会の機械をどうするのか、近々協議をスタートさせる。その内容を反映させられる範囲で、令和 7 年度の大会の実施方法を考えていくとの報告を日本消防協会から受けている。

7. 新日本消防会館の記念イベント（案）について

令和 6 年春の完成予定。

今年・来年での 130 周年記念のイベントはない見込み

8. 協会事務所のアスベスト検査 結果報告について

9. その他

- ・令和5年5月8日以降の新型コロナウイルス感染症の入院見舞金の取り扱いについて
- ・愛媛県消防操法大会のスケジュールについて。8月の理事会で令和6年度の実施日・場所を確定させ、消防防災安全課に提案したいと考えている。

山内敏男氏は、本日の議事がすべて終了したので議長の席を降り、事務局長が午後4時30分閉会を宣した。

本評議員会の議事の経過の要領及び結果が正確であることを証するため、議事録を作成し、議長並びに議事録署名人2名はこれに署名捺印する。

令和5年5月31日

公益財団法人 愛媛県消防協会

捨印

議長 山内敏男 ⑩ ⑩

評議員 森 眞 和 ⑩ ⑩

評議員 宮 本 寅 誉 ⑩ ⑩